

第6学年2組道徳科学習指導案

- 1 主 題 名 理解し合うために < B - (1 1) 相互理解、寛容 >
- 2 教 材 名 みんな、おかしいよ！ (光村図書 道徳6)
- 3 主題設定の理由

(1) ねらいとする価値について

現代社会では、国や地域という枠組みを超えた、多様性の重要さがいわれている。一人一人の個性を尊重し、多様な意見を認め合うからこそ生まれる新しい力によって、豊かな社会を実現することが求められている。ただ、何か問題が生じたとき、一人一人が自分勝手な主張をしていけば、多様性がゆえに、解決策や改善策をまとめることがより困難になる。そのため、自分の意見や考えをしっかりと相手に伝えるとともに、相手の意見や考えに耳を傾け、相手の立場や考えを尊重することが重要になり、互いに理解し合おうとする意欲や態度を育むことが大切である。

(2) 児童の実態について

本学級は、男女の仲が良く会話も多い。授業でのペア活動やグループ活動では、それぞれが自分の意見を伝え主体的に話し合いに参加する姿や、班活動ではお互い協力し合っ
て、積極的に活動する姿が見られる。しかし、児童の会話を聞いていると、強い口調で注意する場面や、冗談でもよい気持ちにならない言葉を使っている場面がある。また、気の合う友達同士においても周りに合わせて行動してしまい、友達のために注意や助言ができない場面も見受けられる。そこで、相手の気持ちや事情を尊重して自分の考えを伝える大切さに気付き、相互理解を深めようとする態度を育てることが大切だと考える。

(3) 本時の指導について

本教材は、それぞれ価値観の違う3人の行動を描いた読み物である。本教材には、相互理解、寛容の難しさについて考えるのに足る、3人の考えが描かれている。①本当のことを言ったら友達が減ってしまうという不安から、いつも周りの意見に合わせてしまう私、②言っていることは正論でも、相手の事情を考えきれず一方的にきつい言い方になってしまふ真紀、③相手の言っていることが正しくても受け入れることが難しく、相手によって振る舞いを変えることに疑問をもっている絵里子。3人のやり取りを通して、自分の経験と照らし合わせ、相互理解することの難しさと、相手の立場に立って考えながら理解し合うために大切なことは何かを考えさせ、自分と異なる意見や立場を尊重しようとする意欲や態度を育てたい。

4 ね ら い

- 3人の姿を通して、相手と理解し合うためには、どんなことに気をつければよいのか考えさせ、自分の考えや意見を相手に伝え、広い心で自分と異なる意見や立場を尊重しようとする意欲や態度を育てる。

5 準 備(教) 人物絵

(児) タブレット端末

6 指導過程

時間	学 習 活 動	指導上の留意点	評 価
5 (5)	1 本時の道徳的価値の方向付けを図る。		

	<p>(1) 友達との関わり方を想起する。 △ 自分と考えが違う友達と関わる時、どうしていますか。 ・ 自分の思ったことは伝える。</p> <p>(2) 教材について話し合う。 △ 3人の言い分や気持ちを整理しよう。 ・ 和花は、本当のことを言ったら嫌われると思っている。 ・ 真紀は、間違っことは言っていないが、言い方がきつい。 ・ 絵里子は、人によって態度を変えることが理解できない。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>相手と理解し合うためには、どうすればよいだろう。</p> </div>	<p>○ 日頃の友達との関係について考えさせる。 ○ 児童の経験を引き出させる。</p> <p>○ 朝の読書の時間に事前読みをさせておく。 ○ 3人の気持ちや言い分を理解しやすいように、人物絵を貼り、整理して板書する。</p> <p>○ 本時のめあてを確認する。</p>	<p>○ 日頃の友達との関わり方を考えることができたか。 (観察)</p> <p>○ それぞれの立場の意見や気持ちを考えることができたか。 (観察・発言)</p>
<p>20 (25)</p>	<p>2 和花と絵里子について考える。</p> <p>(1) 2人の真紀に対する態度について考える。 △ 和花の態度はどう思うか。 ・ 自分の意見を言えず周りに合わせてしまう人。 △ 絵里子の態度はどう思うか。 ・ 正論だけど、言い方がきつい。</p> <p>(2) どちらの言動に共感できるかを話し合う。 ・ 相手の顔色をうかがう和花に共感できる。 ・ 今後の真紀のためにも、正直に言った絵里子に共感できる。</p> <p>(3) 真紀の思いについて考える。 △ 真紀はなぜ「ありがとう」と伝えたのか。 ・ 自分のよくないところに気付いたから。 ・ 自分の弱さを認めているから。 ・ アドバイスを受け入れているから。</p>	<p>○ 和花の行動を客観的に考えさせる。 ○ 絵里子の行動を客観的に考えさせる。 ○ 児童と二人を自我関与させる。 ○ 和花の人間としての弱さを認めさせる。 ○ タブレットを活用し、心の数直線で気持ちを表現させる。</p> <p>○ 「ありがとう」の意味を考えさせる。 ○ 真紀の心の変化を捉えさせる。 ○ 相手の意見を尊重し、受け止める真紀のよさを考えさせる。</p>	<p>○ 和花と絵里子の性格を考えることができたか。 (観察・発言)</p> <p>○ 二人と自分を重ね合わせることができたか。 (タブレット)</p> <p>○ 言葉の意味を考えることができたか。(発言) ○ 相手の言葉を受け入れようとする真紀を理解できたか。(観察・発言)</p>
<p>15 (40)</p>	<p>4 和花と絵里子の態度を考える。</p> <p>▲ 和花と絵里子の態度はどのようにしたらよい関係になるか。 ・ 絵里子は正論だけど言い方を優しくして伝えたほうがいい。 ・ 和花は相手に伝えないといけないことは、正直に言うべき。</p> <p>△ もし、自分だったらどのように対応するか実践してみよう。 ・ 和花の気持ちもわかるけど、態度を変えると周りの信頼がなくなるよ。</p>	<p>○ 二人の足りない部分を考えさせる。 ○ 真紀の態度も踏まえて考えさせる。 ○ ペアで話し合い、考えを共有させる。 ○ 役割演技を取り入れる ○ 演じた児童や、見ている児童にインタビューし、気持ちの変化を聞く。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p>自分の考えや意見を相手に伝え、広い心で自分と異なる意見や立場を尊重しようとする意欲が高まったか。 (発表・観察)</p> </div>

5 (45)	5 振り返りをする。 ・ 本時の授業を通して考えたことを ノートに記入する。	○ 本時での気づきや学び を書かせる。	○ 今回の学びを 実生活でも生かそう と考えることが できたか。(ノート)
-----------	--	------------------------	--